

宗岡中だより



9月号 平成29年8月29日(火)
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

「高気圧 定位置座り 夏戻る」

校長 佐藤哲浩

24節気の処暑（暑さが和らぎはじめ穀物が実る時期）を迎えた頃に、ようやく本来の夏の暑さが戻ってきました。今年の夏は梅雨明け後に東日本を中心に天候不順が続き、熊谷气象台によると、8月の前半は気温30℃以上になった真夏日は7日間。夏物の売り上げや季節のレジャーは影響を受け、そして何より心配されるのが、収穫期を迎えた農作物への打撃、連日の曇りや雨で日照時間が少なくなっており、特に稲の生育を妨げかねない状況です。今後、猛暑日が連日続くのも体に堪えますが、日照時間が増え農作物が本来の収穫になることを願っております。



さて、皆さんにとってこの夏休みで一番印象に残ったことは何でしょうか。私が敢えて一つ挙げるとするならば、花咲徳栄高校が全国高校野球選手権で優勝したことです。99回の歴史を数える同大会で、埼玉県にとって初の快挙だからです。花咲徳栄高校の野球員、監督、コーチ、保護者、教職員、関係者に心より敬意を表します。私事になりますが、今から約30年前、中3の担任だった私のクラスに、花咲徳栄（創立1982年）で野球をやりたいという生徒がおり、加須まで体験入学に連れていったことがあります。生徒が体験入学に参加している間に、教員・保護者には学校施設説明会がありました。マイクロバスに乗せられアナウンス付きで回った記憶があるのです。つまり歩いて回れないほど広大な施設だからです。両翼90m以上でバックスクリーンが付いている専用の野球練習場、400mトラックの陸上競技場とサッカー場、ソフトボール場、大きな二つの体育館、生徒寮、そして最も驚いたのが専属のトレーナーがいるトレーニングジム施設、まるで私立大学に来たような感じを抱いたのです。当時は埼玉県予選1, 2回戦で負けていましたが、「いずれ花咲徳栄のような高校が甲子園で活躍するのだろう」と思っていました。

話は変わって、いよいよ今日から二学期が始まります。二学期は授業日が一番多く、勉強・行事に腰を据えて取り組むことができる充実した学期です。1年生にとっては、一学期よりもう一段ステップアップできる学期です。「我々が先輩を支えていく」という意識をもって学校生活を送ってほしいと思います。2年生は、生徒会活動、部活動では学校の中心になります。「我々が学校をリードしていく」という気概をもって学校生活を送ってほしいと思います。3年生は自分の進路に向き合い、自己実現に向けて努力してほしいと思います。また、部活動や生徒会活動では、「伝統を後輩に引き継ぐ」という思いで見守ってほしいと思います。そして、3年生にとって最後の行事には、思い出に残るよう精一杯取り組んでください。